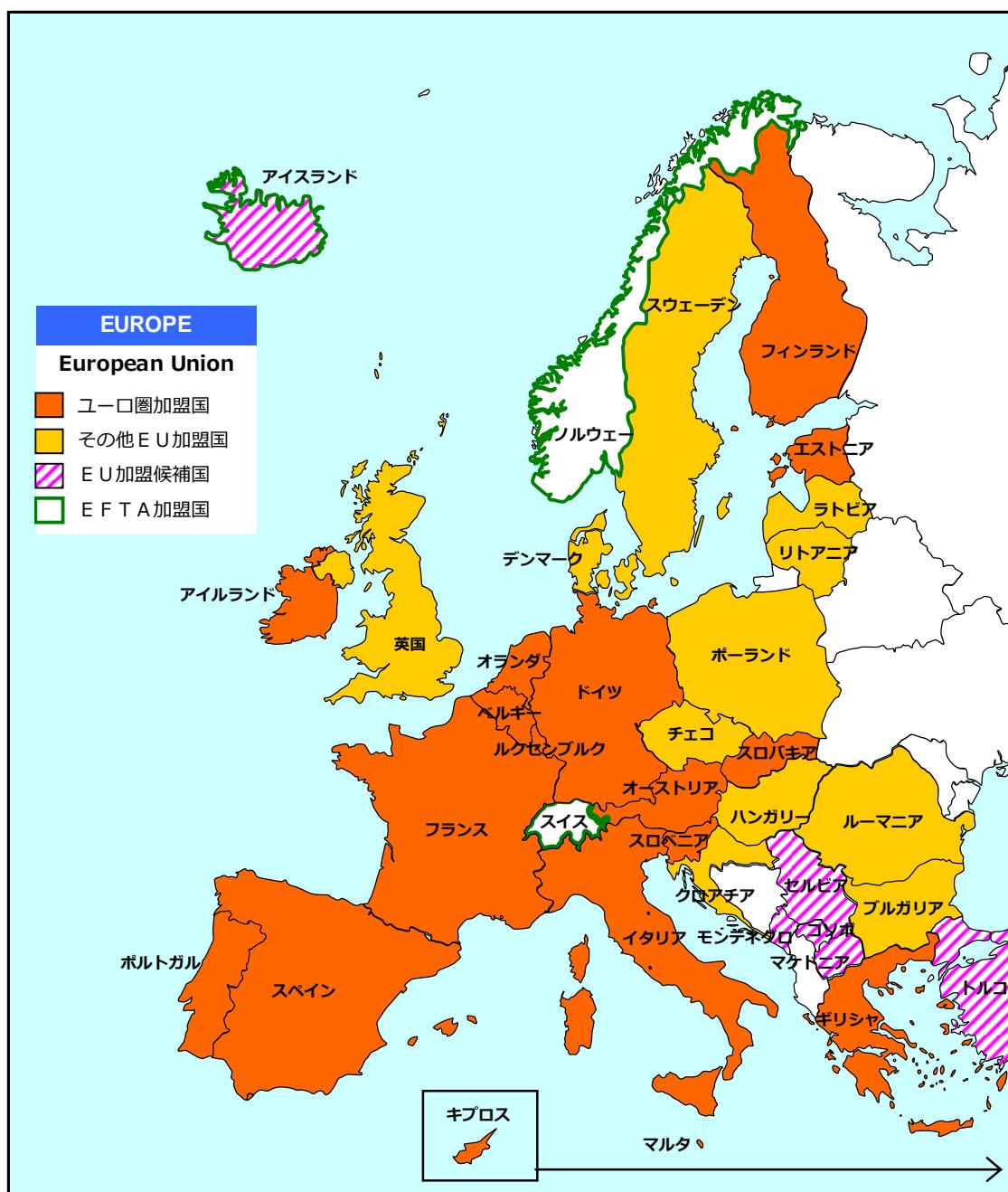


2013年12月20日 全13頁

# 欧州経済アップデート (2013.12)

経済調査部  
研究員 矢澤 朋子

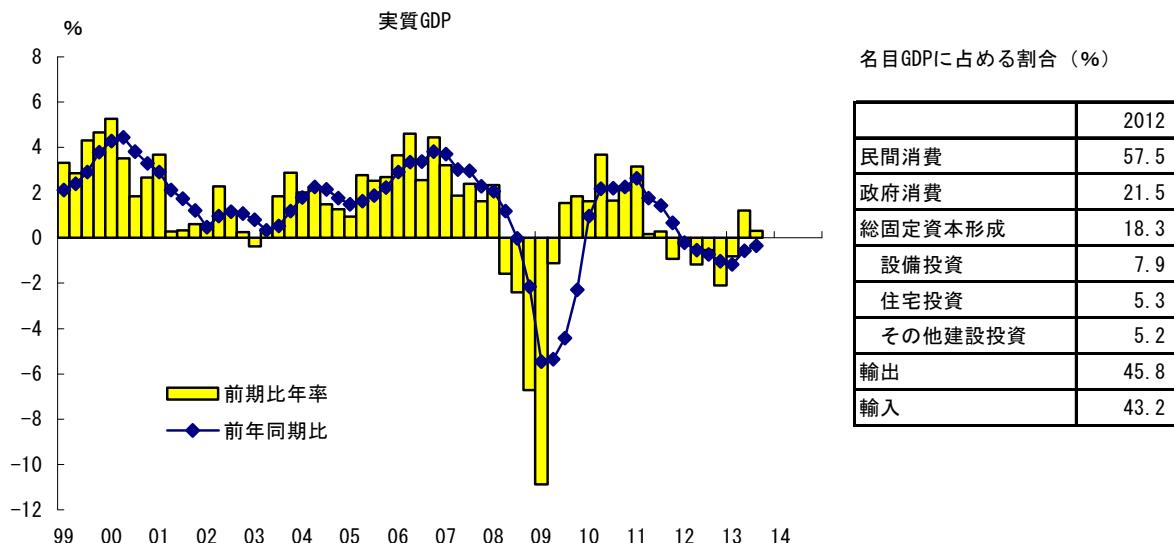
出所：三角形「白地図専門店」サイトより大和総研作成

大和証券グループ 株式会社大和総研 丸の内オフィス 〒100-6756 東京都千代田区丸の内一丁目9番1号 グラントウキヨウノースタワー

このレポートは投資勧誘を意図して提供するものではありません。このレポートの掲載情報は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、記載された意見や予測等は作成時点のものであり今後予告なく変更されることがあります。㈱大和総研の親会社である㈱大和総研ホールディングスと大和証券㈱は、㈱大和証券グループ本社を親会社とする大和証券グループの会社です。内容に関する一切の権利は㈱大和総研にあります。無断での複製・転載・転送等はご遠慮ください。

## ユーロ圏 GDP

- 13年Q3のGDP成長率(2次推計)は前期比+0.1%と速報から変更なし。個人消費は同+0.1%とQ2と変わらず
- 総固定資本形成は同+0.4%とQ2から加速。うち、その他建設投資は同+0.5%と11年Q1以来のプラス成長に転換した
- 純輸出は10年Q1以来のマイナス寄与を記録。輸入は減速したが、それ以上に輸出が大幅に減速したため



ユーロ圏の需要項目別GDP成長率（前期比：%）

	1001	1002	1003	1004	1101	1102	1103	1104	1201	1202	1203	1204	1301	1302	1303
実質GDP	0.4	0.9	0.4	0.5	0.8	0.0	0.1	-0.2	-0.1	-0.3	-0.1	-0.5	-0.2	0.3	0.1
個人消費	0.1	0.2	0.3	0.5	0.1	-0.6	0.2	-0.6	-0.3	-0.5	-0.1	-0.5	-0.1	0.1	0.1
政府消費	-0.4	0.2	0.1	-0.0	-0.1	0.1	-0.3	0.2	-0.3	-0.3	-0.2	0.0	0.3	0.0	0.2
総固定資本形成	-0.2	1.7	0.2	-0.4	2.4	-0.8	-0.3	-0.6	-1.1	-2.0	-0.6	-1.2	-1.9	0.2	0.4
設備投資	2.2	2.8	1.5	1.1	2.1	0.1	0.4	-1.0	-1.0	-2.2	-0.5	-0.9	-1.5	0.9	0.1
住宅投資	-0.7	1.8	-1.1	-1.8	2.8	-1.1	-1.3	-0.4	-0.2	-1.6	-0.7	-1.6	-1.7	0.3	0.7
その他建設投資	-3.1	-0.1	-0.4	-1.4	2.5	-1.6	-0.4	-0.1	-2.1	-2.1	-0.5	-1.2	-2.9	-0.9	0.5
輸出	3.0	4.4	1.9	2.5	1.7	0.3	1.3	0.3	0.8	0.9	0.7	-0.5	-1.0	2.1	0.2
輸入	3.5	4.2	1.3	1.9	1.6	-0.1	0.6	-1.2	0.0	-0.2	0.3	-0.9	-1.2	1.6	1.0

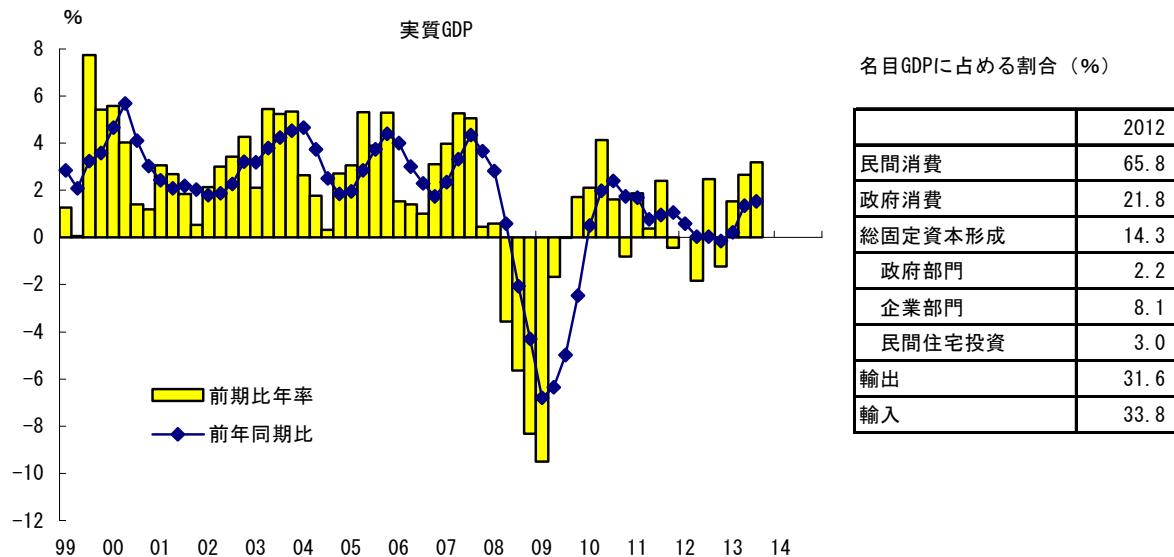
ユーロ圏の需要項目別GDP寄与度（前期比：%）

	1001	1002	1003	1004	1101	1102	1103	1104	1201	1202	1203	1204	1301	1302	1303
実質GDP	0.40	0.90	0.41	0.53	0.78	0.04	0.07	-0.23	-0.08	-0.29	-0.13	-0.53	-0.21	0.30	0.08
個人消費	0.08	0.14	0.16	0.29	0.1	-0.32	0.13	-0.36	-0.19	-0.30	-0.06	-0.27	-0.07	0.08	0.04
政府消費	-0.09	0.04	0.02	-0.00	-0.03	0.02	-0.06	0.04	-0.06	-0.05	-0.04	0.01	0.06	0.01	0.04
総固定資本形成	-0.04	0.32	0.04	-0.08	0.45	-0.15	-0.05	-0.11	-0.20	-0.37	-0.10	-0.22	-0.35	0.04	0.07
設備投資	0.18	0.23	0.13	0.09	0.18	0.01	0.04	-0.09	-0.08	-0.19	-0.04	-0.08	-0.12	0.07	0.01
住宅投資	-0.04	0.10	-0.06	-0.10	0.15	-0.06	-0.07	-0.02	-0.01	-0.08	-0.04	-0.08	-0.08	0.01	0.04
その他建設投資	-0.16	-0.00	-0.02	-0.07	0.13	-0.08	-0.02	-0.01	-0.10	-0.02	-0.06	-0.06	-0.14	-0.04	0.02
在庫変動	0.55	0.27	-0.07	0.06	0.21	0.29	-0.27	-0.42	0.01	-0.03	-0.13	-0.19	0.09	-0.13	0.27
輸出	1.20	1.77	0.79	1.06	0.72	0.15	0.56	0.15	0.37	0.39	0.32	-0.24	-0.44	0.97	0.08
輸入	-1.30	-1.62	-0.53	-0.79	-0.64	0.05	-0.23	0.48	-0.02	0.08	-0.10	0.37	0.49	-0.64	-0.41
純輸出	-0.11	0.15	0.26	0.27	0.09	0.20	0.33	0.63	0.35	0.47	0.22	0.13	0.05	0.33	-0.33

出所 : Eurostat、Haver Analytics データより大和総研作成

## 英国 GDP

- 13年Q3のGDP成長率(2次推計)は前期比+0.8%と速報と変わらず。牽引役の個人消費は同+0.8%と10年Q2以来の大幅増を記録
- 総固定資本形成は同+1.4%と加速し、3四半期連続のプラス成長。うち企業部門はプラス成長に転じた
- 輸出は3四半期ぶりのマイナスに転じ、純輸出は唯一のマイナス寄与項目となった



英国の需要項目別GDP成長率(前期比: %)

	10Q1	10Q2	10Q3	10Q4	11Q1	11Q2	11Q3	11Q4	12Q1	12Q2	12Q3	12Q4	13Q1	13Q2	13Q3
実質GDP	0.5	1.0	0.4	-0.2	0.5	0.1	0.6	-0.1	0.0	-0.5	0.6	-0.3	0.4	0.7	0.8
個人消費	-0.8	1.5	-0.0	0.4	-1.1	0.0	-0.1	0.6	0.3	0.4	0.1	0.6	0.5	0.3	0.8
政府消費	-0.3	0.5	-0.1	-0.1	-0.1	0.1	-0.4	0.4	2.4	-1.4	0.2	0.3	-0.2	0.5	0.5
総固定資本形成	5.9	-1.7	4.1	-3.8	-4.8	6.5	-1.1	-1.2	3.6	-0.8	-2.4	-3.8	0.1	0.8	1.4
政府部門	-4.1	-6.2	4.0	-2.2	0.0	-13.3	5.1	-4.8	16.5	-2.9	-6.3	-2.0	-11.7	14.1	0.9
企業部門	10.5	-10.1	8.6	-5.2	-5.3	12.3	-3.5	-1.2	6.6	-2.4	-1.0	-6.6	1.7	-2.7	1.4
民間住宅投資	23.8	18.5	-4.6	-0.2	-6.5	6.2	7.8	1.1	-8.8	1.4	-1.9	1.4	3.0	2.7	1.8
輸出	0.3	4.0	0.3	2.6	3.8	-5.2	1.1	4.7	-1.8	-0.4	2.0	-1.7	0.1	3.0	-2.4
輸入	1.9	2.7	2.5	1.1	-2.6	-0.7	1.0	1.1	0.6	1.4	0.8	-0.9	-0.8	2.9	0.4

英国の需要項目別GDP寄与度(前期比: %)

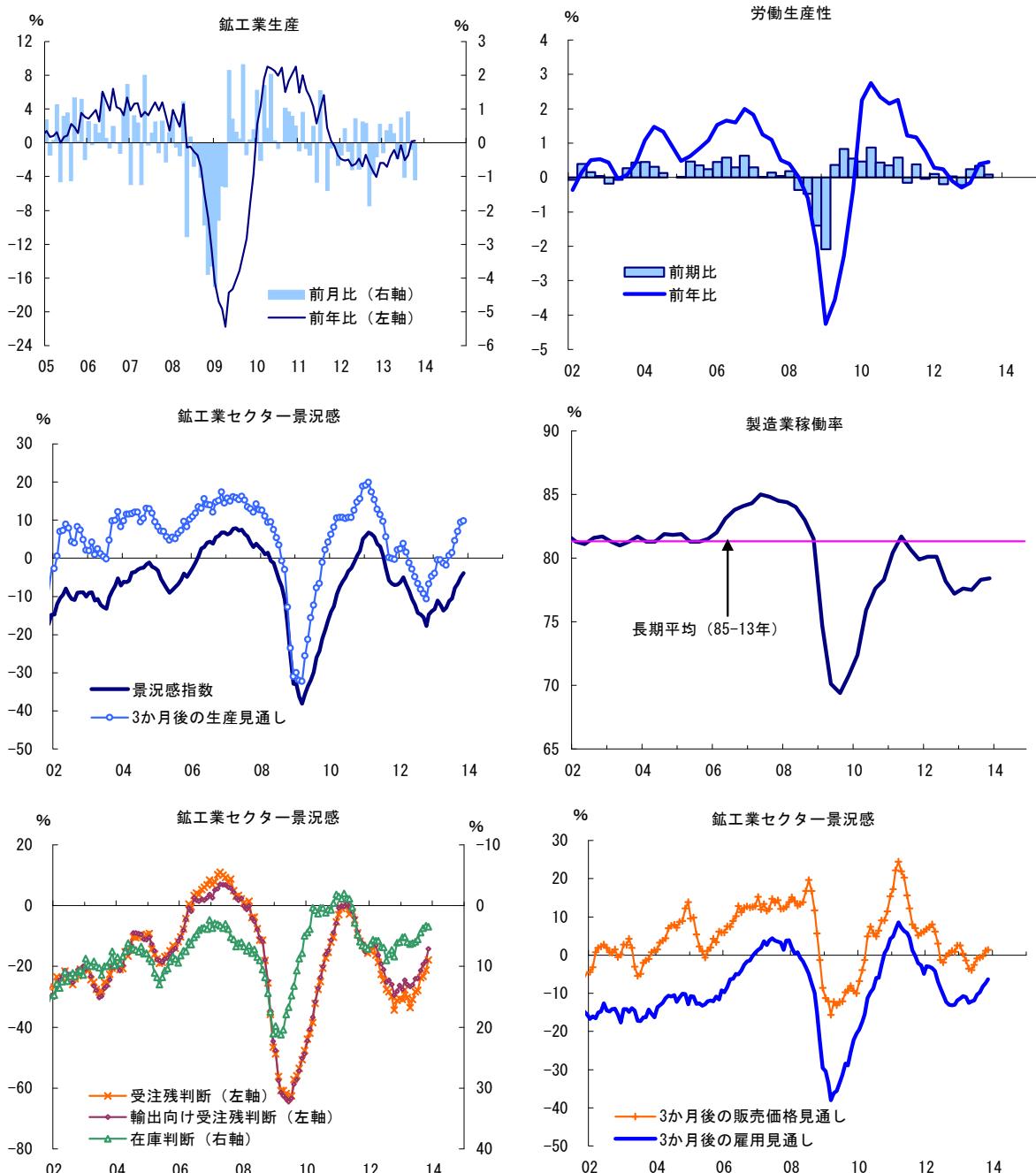
	10Q1	10Q2	10Q3	10Q4	11Q1	11Q2	11Q3	11Q4	12Q1	12Q2	12Q3	12Q4	13Q1	13Q2	13Q3
実質GDP	0.53	1.02	0.40	-0.20	0.47	0.10	0.60	-0.11	0.00	-0.46	0.61	-0.31	0.38	0.66	0.79
個人消費	-0.50	0.95	-0.00	0.26	-0.74	0.01	-0.09	0.35	0.18	0.29	0.06	0.37	0.35	0.19	0.51
政府消費	-0.07	0.11	-0.03	-0.02	-0.01	0.03	-0.10	0.10	0.54	-0.32	0.06	0.06	-0.05	0.12	0.11
総固定資本形成	0.85	-0.26	0.60	-0.58	-0.70	0.90	-0.16	-0.17	0.52	-0.12	-0.36	-0.55	0.02	0.10	0.20
政府部門	-0.11	-0.16	0.10	-0.05	0.00	-0.32	0.11	-0.10	0.34	-0.07	-0.15	-0.04	-0.25	0.27	0.02
企業部門	0.83	-0.88	0.67	-0.43	-0.42	0.92	-0.29	-0.10	0.53	-0.20	-0.08	-0.54	0.13	-0.21	0.11
民間住宅投資	0.55	0.52	-0.15	-0.01	-0.20	0.18	0.24	0.04	-0.30	0.04	-0.06	0.04	0.09	0.09	0.06
在庫変動	1.07	-0.07	0.53	-0.29	-0.09	0.60	0.94	-1.46	-0.31	0.36	0.48	0.01	-0.30	0.16	0.91
輸出	0.10	1.18	0.08	0.77	1.16	-1.67	0.32	1.43	-0.57	-0.14	0.64	-0.55	0.02	0.94	-0.75
輸入	-0.60	-0.84	-0.80	-0.35	0.85	0.23	-0.32	-0.36	-0.21	-0.47	-0.26	0.31	0.27	-0.94	-0.14
純輸出	-0.50	0.34	-0.72	0.42	2.01	-1.44	0.01	1.08	-0.78	-0.61	0.37	-0.24	0.29	0.00	-0.90

注：英国統計局の基準改定により、企業部門と民間住宅投資が遡及して修正された（13年Q1の第3次推計で発表）。新基準では、従来含まれていた経済的価値を生み出さない既存の建造物や土地などの譲渡に関する費用が除外されている

出所：英国統計局、Haver Analytics データより大和総研作成

## ユーロ圏 生産

- 10月の鉱工業生産は前月比-1.1%と減少幅拡大。エネルギーと消費財の生産がマイナスに転じた。前年比では+0.2%と9月と変わらず
- 11月の鉱工業セクター景況感は7か月連続の前月比改善。在庫判断のみ前月比でやや悪化したが、その他の構成要素は引き続き改善している
- 13年Q3の労働生産性は前期比+0.1%となり、小幅ながら3四半期連続のプラス成長を維持。前年比では+0.5%

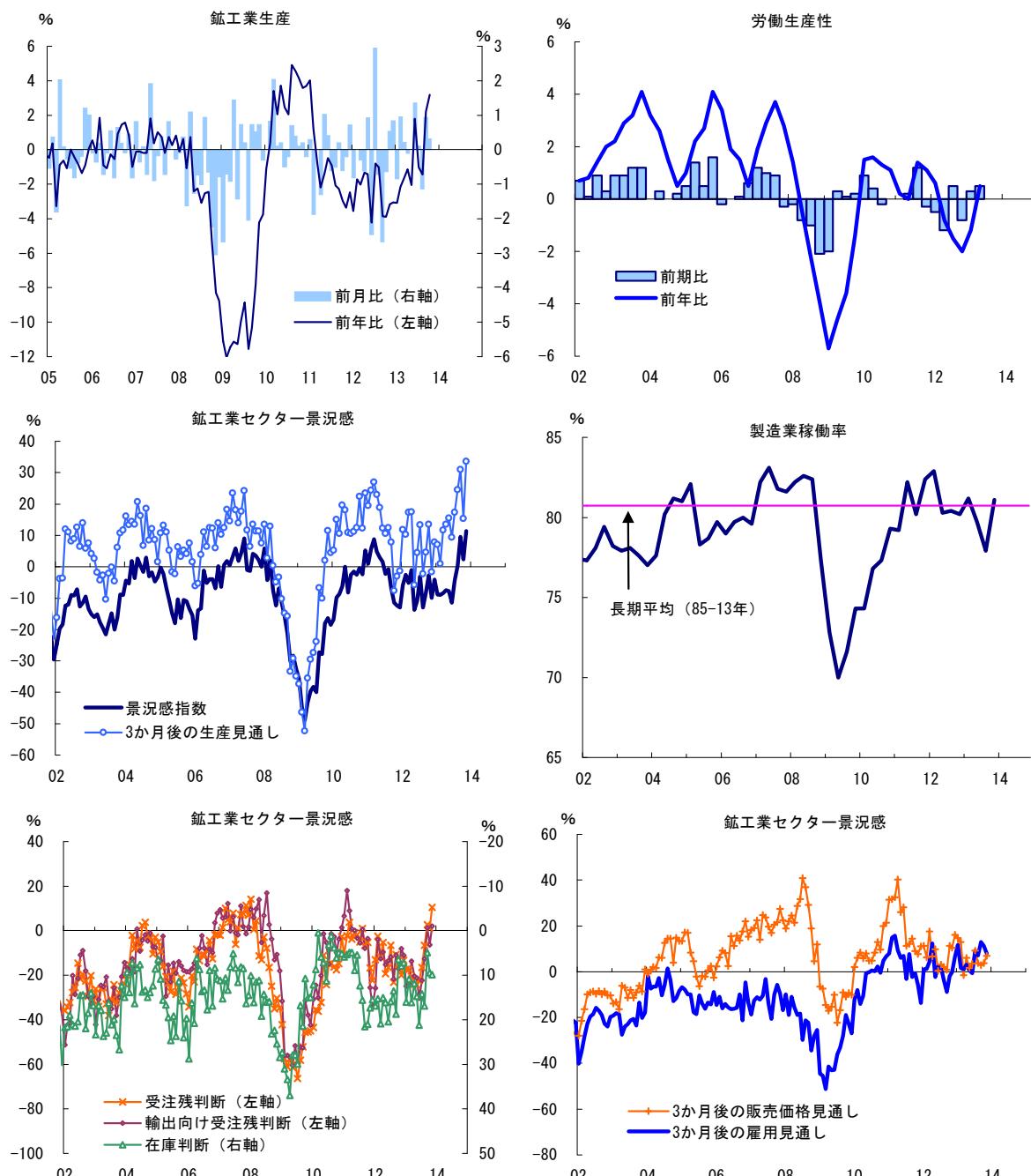


注：鉱工業セクター景況感の在庫判断は逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：Eurostat、ECB、欧州委員会データより大和総研作成

## 英国 生産

- 10月の鉱工業生産は前年比+3.2%と11年1月以来の大幅な伸び。牽引役は製造業で、特に自動車・トレーラー・セミトレーラーが大きく貢献
- 11月の鉱工業セクター景況感は10月の悪化から再び改善し、88年12月以来の高水準。3か月後の生産見通しや受注残判断が大きく改善
- 一方、3か月後の雇用見通しは2か月連続の悪化

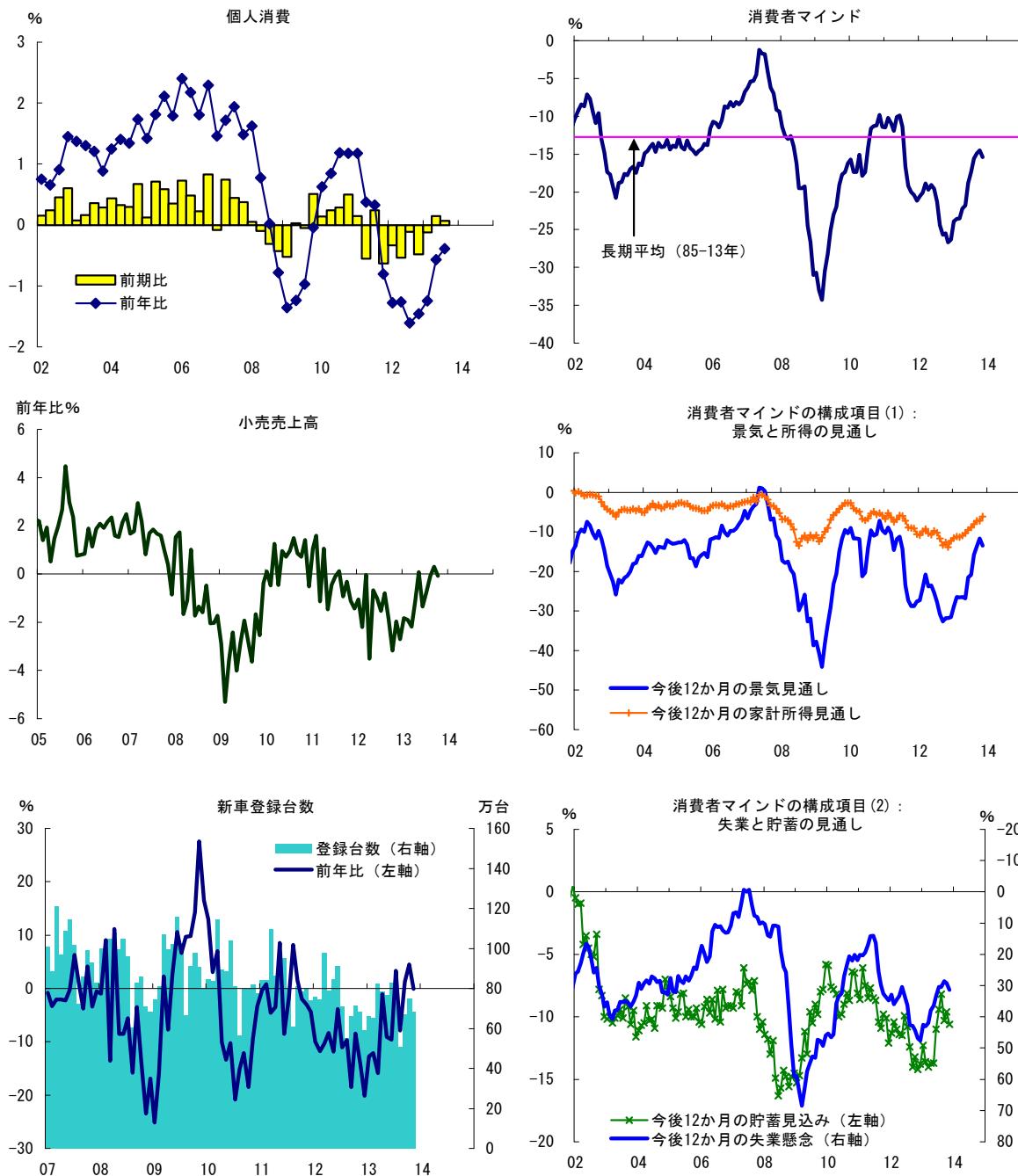


注：鉱工業セクター景況感の在庫判断は逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：英国統計局、Eurostat、欧州委員会データより大和総研作成

## ユーロ圏 消費

- 10月の小売売上高は前年比-0.1%と再び前年割れに転落。自動車燃料の売上が引き続き増加するも、非食品セクターが前年割れに転じた
- 新車登録台数は2か月連続の前年比プラスの後、11月に同一-0.1%と再び前年割れに
- 11月の消費者マインドは前月比で悪化し、12年12月からの改善トレンドがストップ

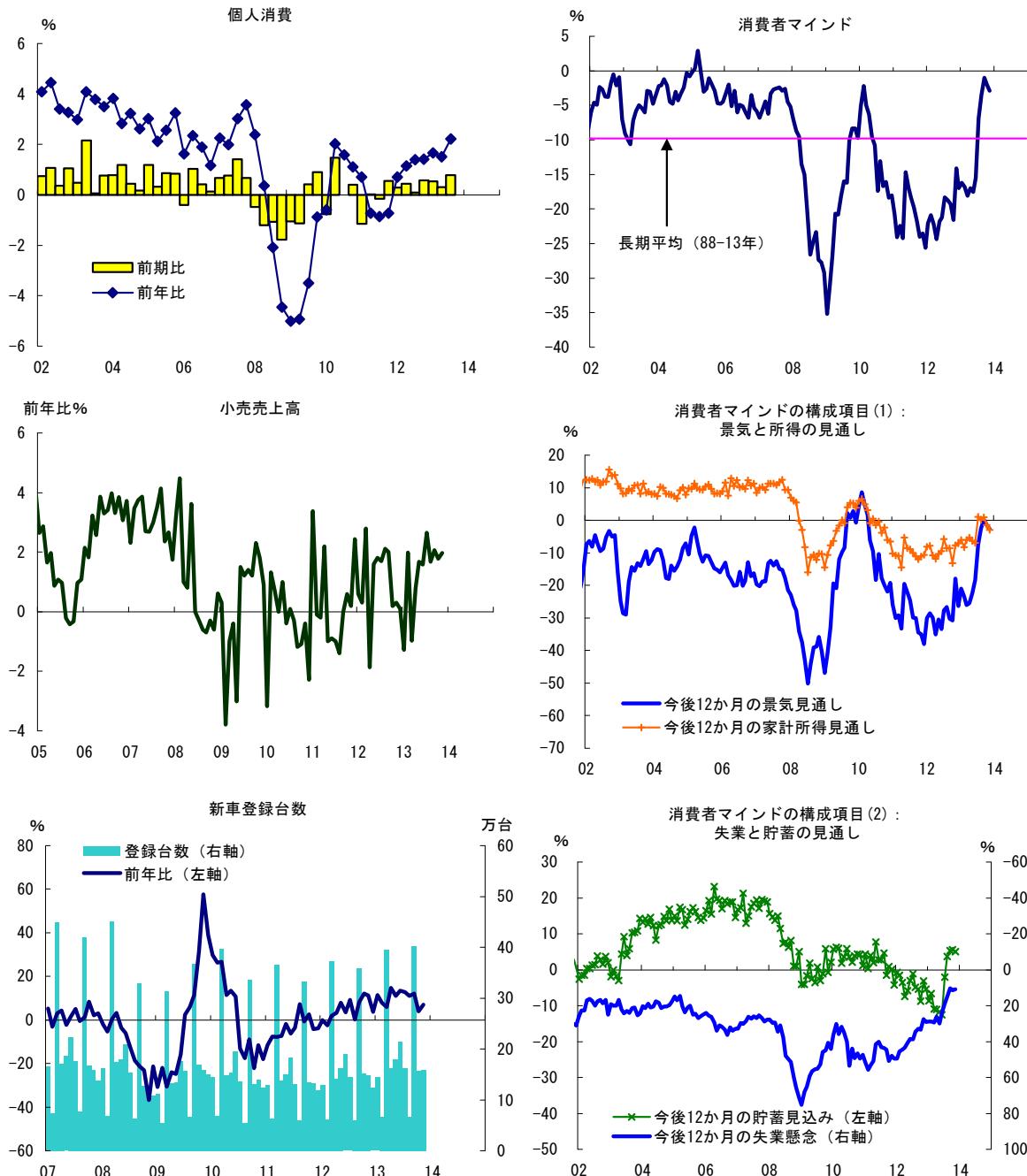


注：消費者マインドの構成項目は「大いに良くなる（増加する）」、「良くなる」、「変わらない」、「悪くなる」、「大いに悪くなる（減少する）」の5つの選択肢から選ばれた回答を加重平均したもの。失業懸念のみ逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：Eurostat、欧州委員会、ACEA データより大和総研作成

## 英國 消費

- 11月の小売売上高は前年比+2.0%とプラス成長継続。服飾品が11年12月以来最大の伸び
- 11月の新車登録台数は前年比+7.0%と10月からわずかに加速し、プラス成長を継続
- 11月の消費者マインドは2か月連続の前月比悪化。今後12か月前の景気見通し及び家計所得見通しの悪化が目立つ

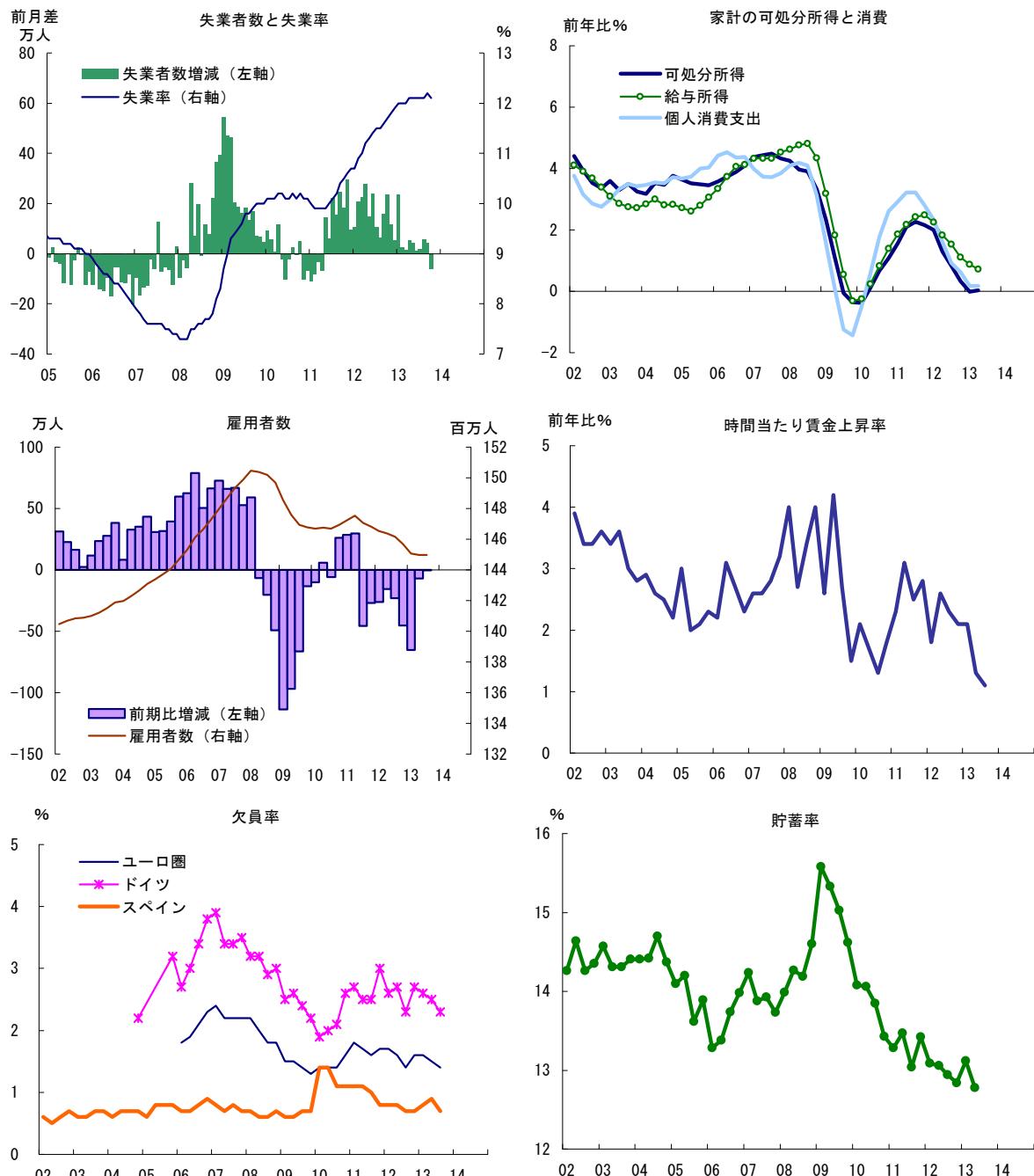


注：消費者マインドの構成項目は「大いに良くなる（増加する）」、「良くなる」、「変わらない」、「悪くなる」、「大いに悪くなる（減少する）」の5つの選択肢から選ばれた回答を加重平均したもの。失業懸念のみ逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：英国統計局、欧州委員会、ACEA データより大和総研作成

## ユーロ圏 雇用・所得

- 10月の失業者数は前月比-6万1千人となり、11年4月以来初の減少を記録。ただし、25歳未満に限ると、失業者数は3か月連続で増加している
- 13年Q3の雇用者数は前期比-0.6%とわずかな減少にとどまった。公的・事務・教育・社会福祉セクターが増加に転じたほか、建設セクターの減少幅が大きく縮小
- 13年Q3の時間当たり賃金上昇率は前年比+1.0%。97年の統計開始以来最も低い伸び

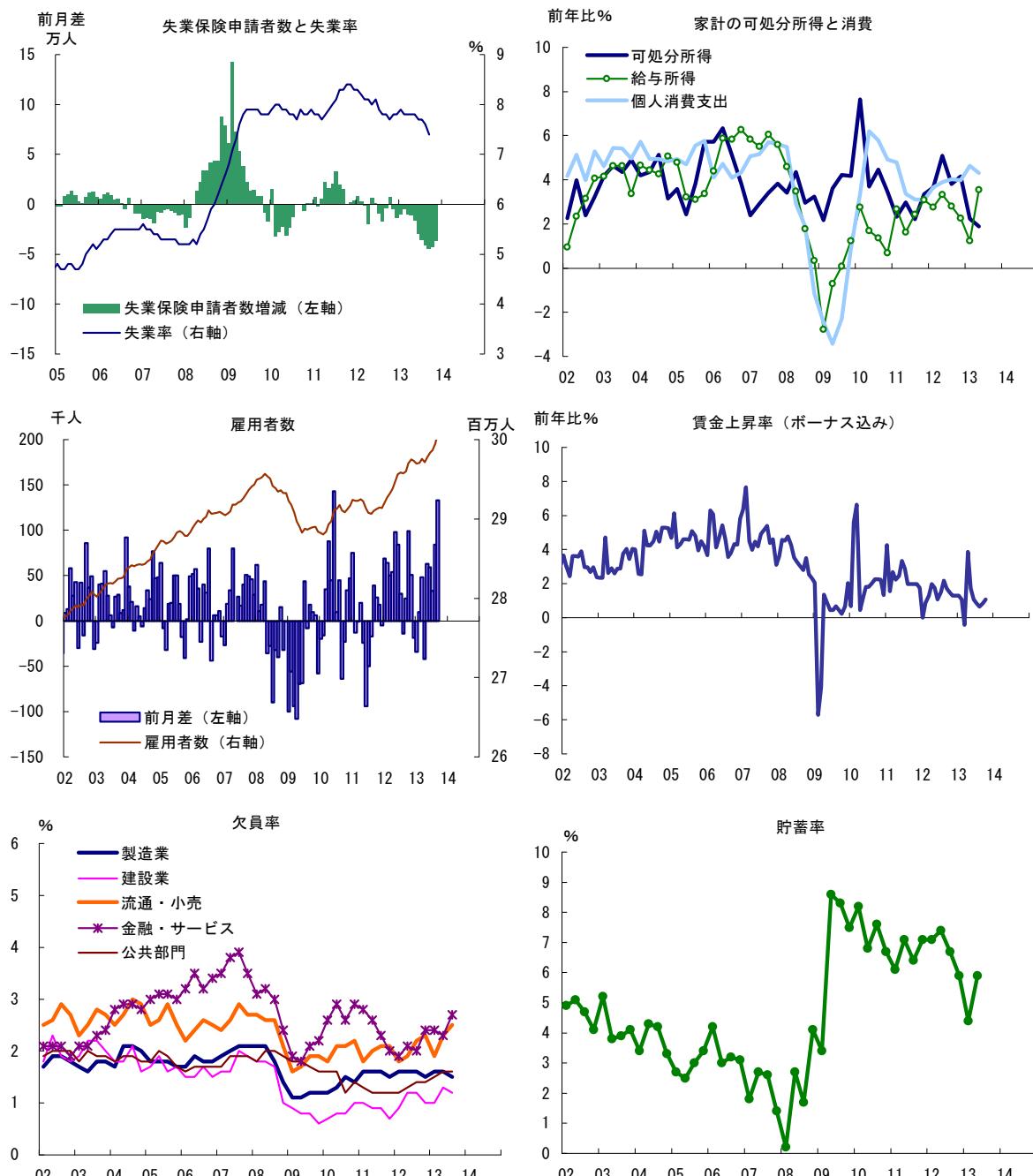


注：欠員率 (Job Vacancy Rate) =  $\frac{\text{Number of job vacancies}}{(\text{Number of occupied posts} + \text{Number of job vacancies})} * 100$

出所：Eurostat、Haver Analytics、ECB データより大和総研作成

## 英国 雇用・所得

- 8~10月の雇用者数は7~9月比+13万3千人と10年6月以来の大幅増。雇用者数は3,009万人と統計開始以来最多を更新。失業率も7.4%に低下
- 内訳を見ると、女性（特にパートタイム）の雇用者数が大きく増加。また、25歳未満の雇用者は7~9月に続いて増加した
- 公的部門の賃金上昇により、10月の賃金上昇率は前年比+1.1%とわずかながら加速

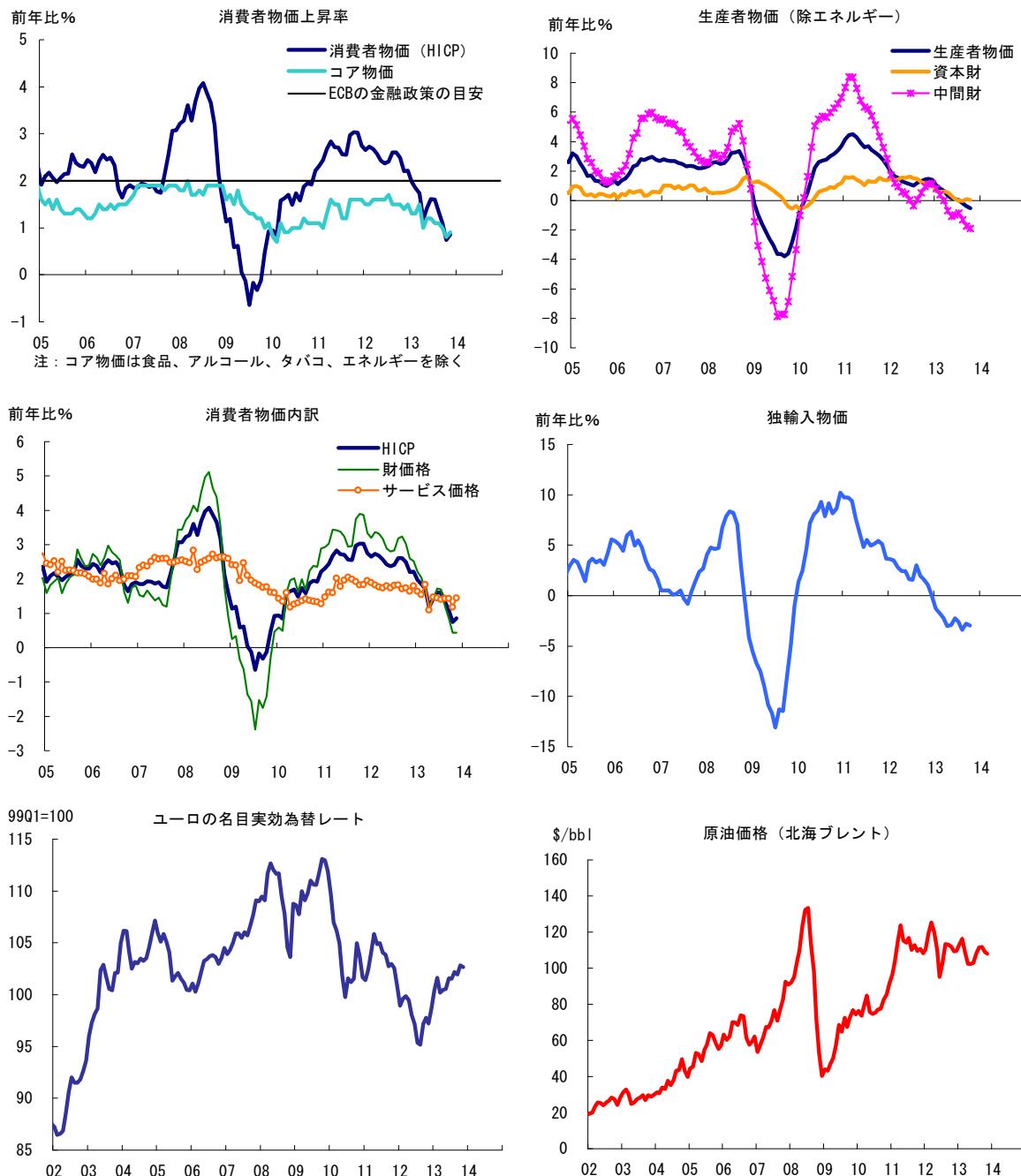


注：欠員率 (Job Vacancy Rate) =  $\frac{\text{Number of job vacancies}}{(\text{Number of occupied posts} + \text{Number of job vacancies})} * 100$

出所：Eurostat、Haver Analytics、英国統計局データより大和総研作成

## ユーロ圏 物価

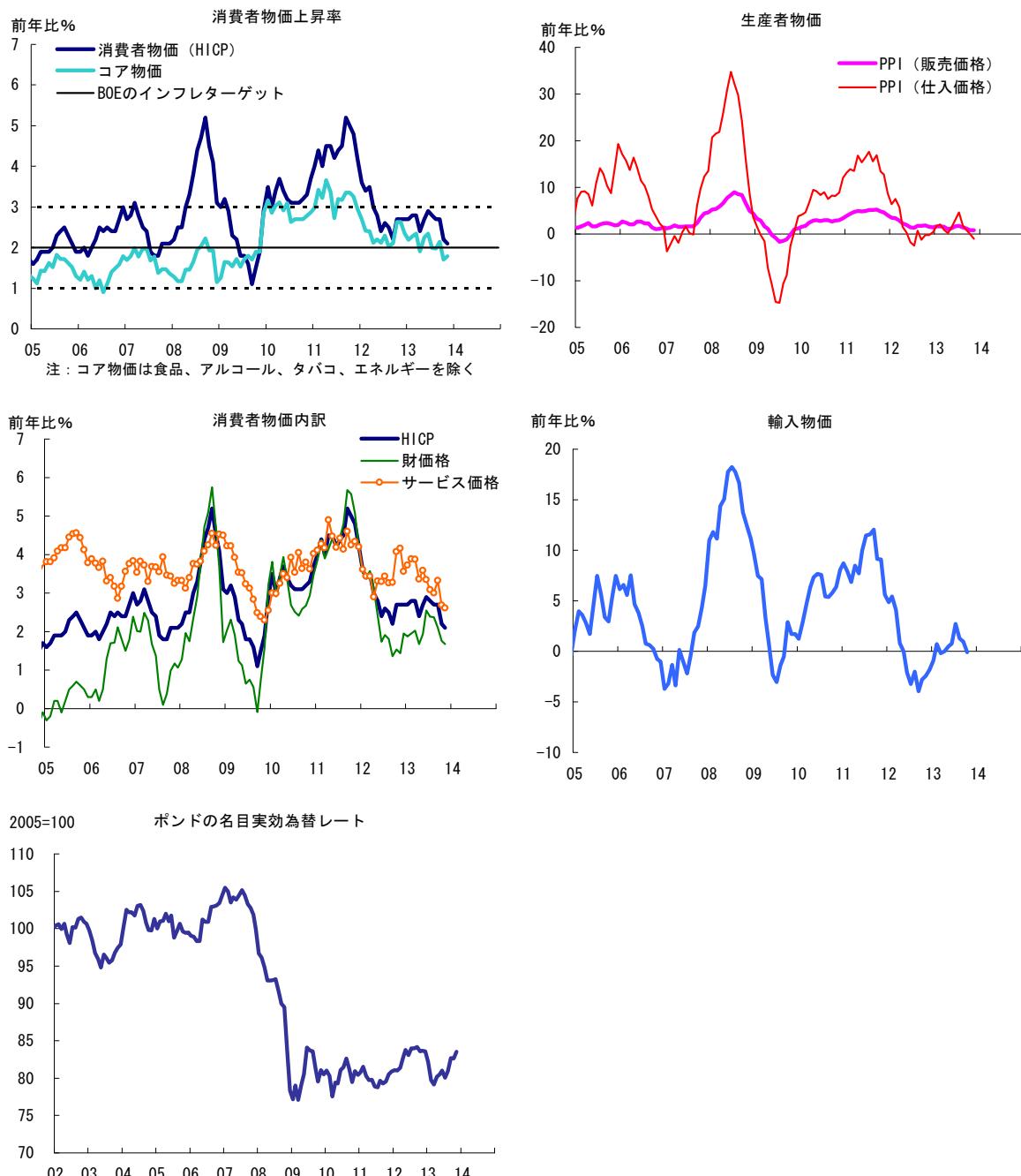
- 11月の消費者物価（HICP）上昇率は前年比+0.9%と10月より上昇。サービス価格の低下がストップし、エネルギー価格の下落幅も縮小した
- 10月の生産者物価は前年比-0.5%。中間財価格の下落が続いている
- 10月の独輸入物価は前年比-3.0%。ユーロの名目実効為替レートはわずかに下落。11月の原油価格（北海ブレント）は2か月連続の下落



出所 : Eurostat, ECB, ドイツ連銀データより大和総研作成

## 英国 物価

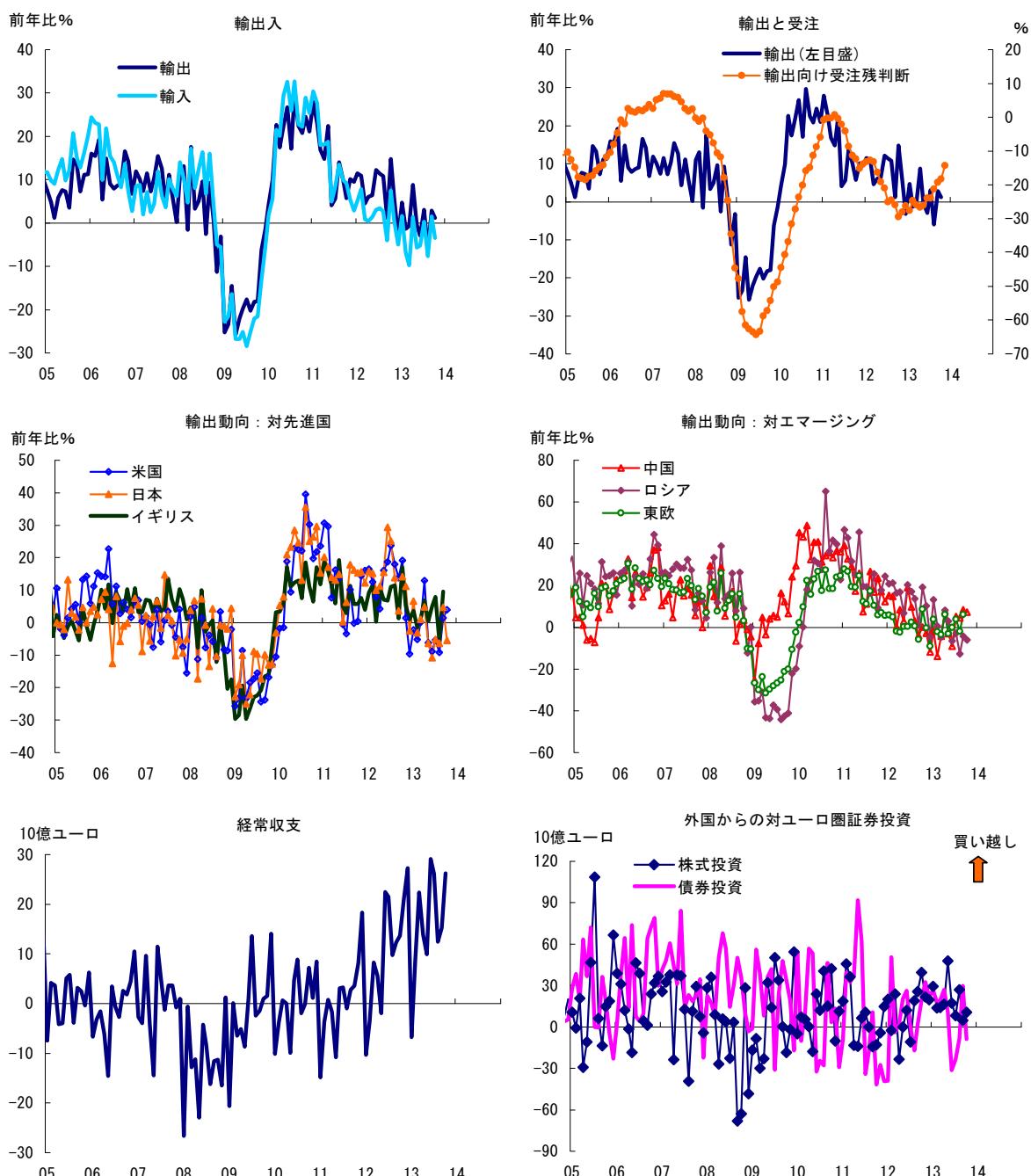
- 11月の消費者物価（HICP）上昇率は前年比+2.1%と低下基調は変わらず。食品（主に野菜・果物）及び電気ガス価格のマイナス寄与が主要因
- 11月の生産者物価上昇率は、販売価格は前年比+0.8%。原油価格のマイナス寄与により、仕入価格は同一-1.0%と1年ぶりの前年割れに転落
- 10月の輸入物価上昇率は前年比-0.1%と7か月ぶりの前年割れに転じた。ポンドの名目実効為替レートは13年3月を底とした上昇傾向が続く



出所 : Eurostat、英国統計局データより大和総研作成

## ユーロ圏 国際収支

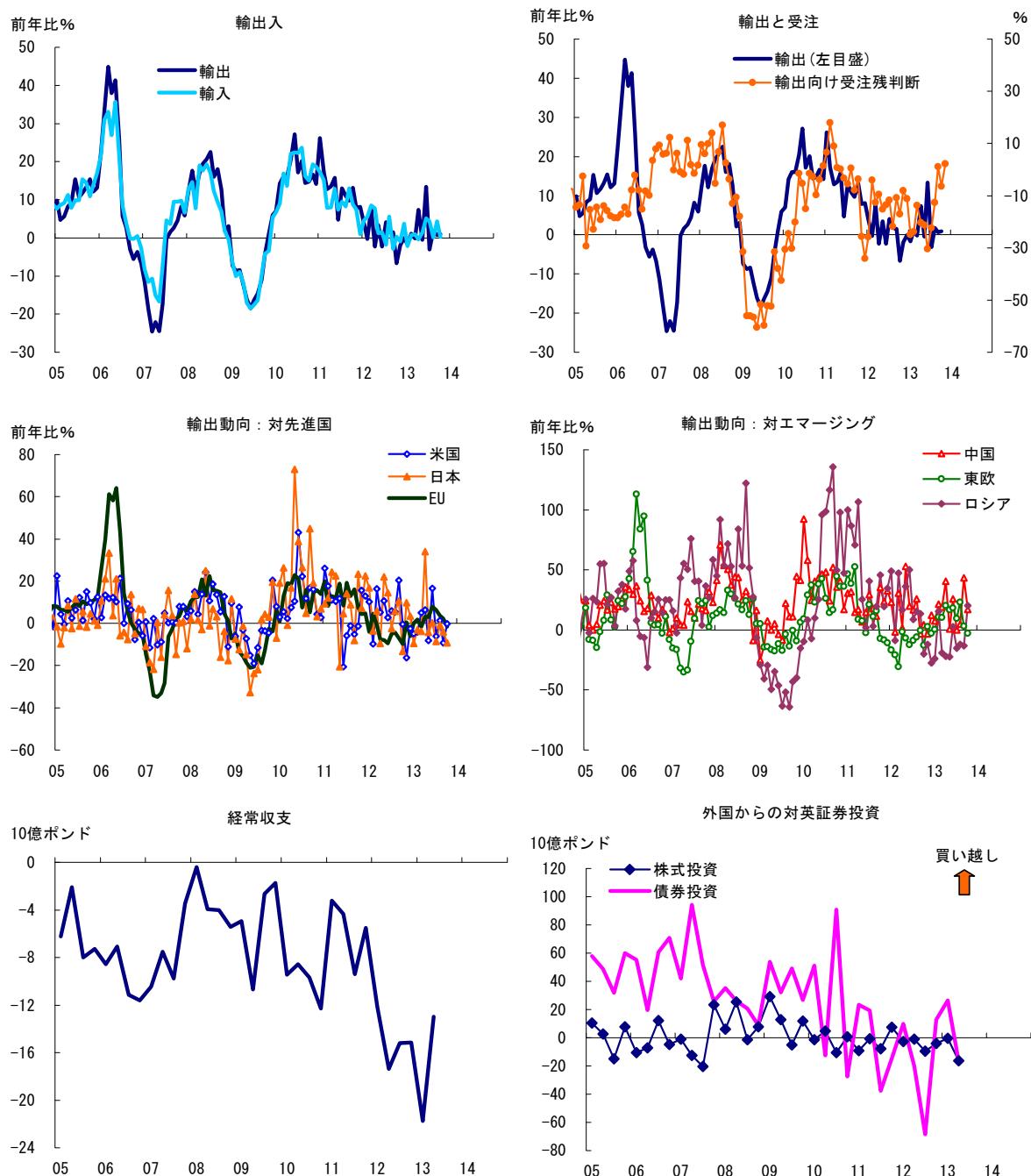
- 10月の輸出は前年比+1.2%と9月から減速。輸入は、主に天然資源と工業製品のマイナス寄与により、同一-3.5%と再び前年割れに転落。輸出向け受注残判断は改善が続く
- 国別輸出動向を見ると、米国及び中国向けの増加は継続。日本向けは再び前年比割れに転落。ロシア向けは5か月連続の前年割れと不振が続く
- 所得収支の黒字増加により、10月の経常収支は262億ユーロの黒字と9月より増加。外国からの対ユーロ圏証券投資は債券投資が再び売り越しに転じ、純買い越し額が大きく減少



出所 : Eurostat、ECB データより大和総研作成

## 英国 国際収支

- 10月の輸出は前年比+0.9%。輸入は、工業製品のプラス寄与が大幅に縮小したため、同+0.3%まで減速。EUとの貿易赤字は65億ポンドと過去最高を更新した
- 国別輸出動向を見ると、EU向けは7か月ぶり、東欧向けは10か月ぶりの前年割れに転落。米国及び日本向けは前年割れが続く
- 11月の輸出向け受注残判断は、前月比で再び改善に転じた



出所 : Eurostat, Haver Analytics, 英国統計局データより大和総研作成